

### Ⅲ. 移動性害虫迅速予察事業

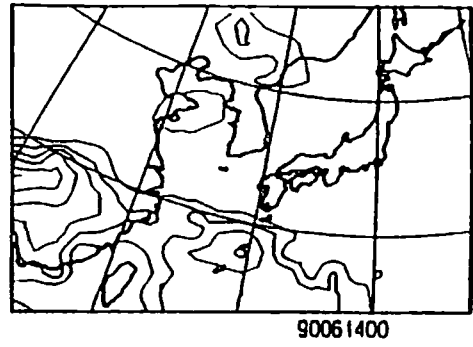
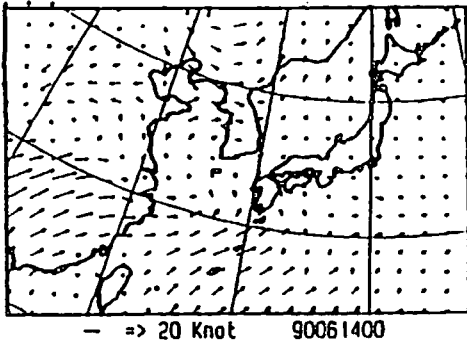
#### 1) 飛来時期及び量の調査

第1表 ウンカ類の日別誘殺数

月	日	セジロウンカ						トビロウンカ						アマガ	
		諫 早			島 原	佐世保	岐宿	諫 早			島 原	佐世保	岐宿		諫 早
		白 熟	ネット	背 色	白 熟	白 熟	白熟	白熟	補	背色	白熟灯	白 熟	白熟		誘殺箱
6月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	7	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	8	3	6	3	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	
	9	1	7	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	
	10	0	0	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	
	11	1	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	1	
	12	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	
	13	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	
	14	5	233	18	1	4	82	0	1	0	0	0	0	0	
	15	696	136	3,156	6,976	158	356	80	0	214	288	70	19	0	
	16	103	101	150	160	6	5	10	1	7	7	0	2	0	
	17	73	6	104	88	6	4	2	0	2	7	0	0	0	
	18	12	0	52	224	4	-	1	0	0	5	1	-	0	
	19	1	0	1	61	0	5	0	0	0	3	0	0	0	
	20	0	0	0	139	0	1	0	0	0	4	0	0	0	
	21	0	0	0	524	1	0	1	0	0	2	0	0	0	
	22	4	0	10	111	21	0	2	0	0	9	2	0	0	
	23	3	0	0	7	1	0	0	0	0	1	0	0	0	
	24	2	0	2	1	1	3	0	0	0	3	0	0	0	
	25	1	3	0	9	-	0	0	0	0	0	-	0	0	
	26	1	68	3	49	1	4	1	1	0	18	1	0	0	
	27	21	5	26	168	1	5	1	0	0	44	1	0	0	
	28	16	2	6	148	394	3	0	0	0	66	42	1	0	
	29	72	3	52	179	29	0	4	0	0	27	5	0	1	
	30	15	0	8	62	5	2	5	0	1	17	2	0	0	

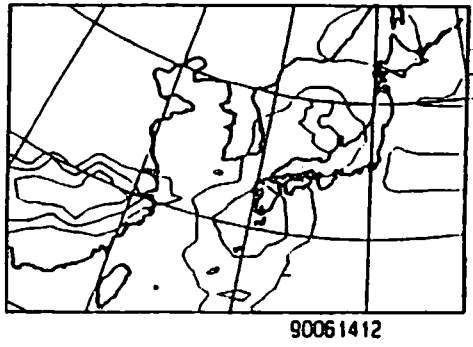
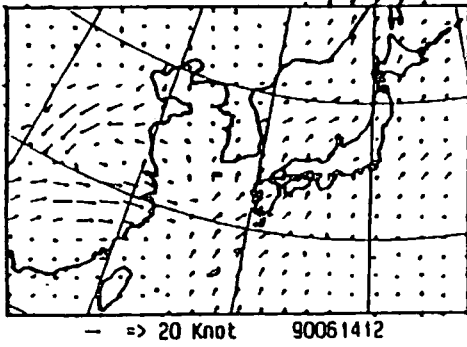
月	日	セジロウンカ						トビイロウンカ						アマガ
		諫 早			島 原	佐世保	岐宿	諫 早			島 原	佐世保	岐宿	諫 早
		白 熟	ネット	背 色	白 熟	白 熟	白熟	白熟	補	青色	白熟灯	白 熟	白熟	誘殺箱
7月	1	1	48	0	110	2	0	0	1	0	29	0	0	0
	2	8	577	22	1,600	1	126	2	14	4	220	0	11	0
	3	2,704	26	2,536	4,784	302	12	220	0	348	1,400	116	0	0
	4	63	247	126	2,648	41	188	24	2	16	256	13	53	0
	5	254	74	264	3,015	196	6	18	0	20	57	18	0	2
	6	634	4	961	614	242	154	4	0	4	16	3	4	0
	7	92	13	63	117	20	203	4	0	0	6	1	2	1
	8	88	3	96	82	18	5	4	0	2	9	1	0	0
	9	50	17	107	814	10	35	4	0	0	32	1	11	0
	10	24	0	40	136	10	1	3	0	0	20	0	0	0
	11	1	197	232	77	5	0	0	3	11	24	1	0	1
	12	91	20	25	30	19	41	43	0	0	6	4	4	2
	13	536	1	300	133	25	57	0	0	0	3	3	0	6
	14	45	82	93	35	4	45	38	10	30	10	0	10	0
	15	16	64	31	400	2	3	2	20	6	68	3	1	1
	16	112	19	311	174,400	0	0	298	2	186	22,900	0	0	4
	17	4	63	10	136	-	11	7	3	7	16	-	0	1
	18	12	14	269	51	-	31	17	2	22	8	-	0	4
	19	22	46	144	1,780	-	27	78	5	100	128	-	0	1
	20	30	6	256	170	-	1	14	0	64	0	-	0	0
	21	12	1	11	94	-	10	0	0	4	32	-	0	0
	22	18	1	25	112	-	4	6	0	15	0	-	0	0
	23	3	1	3	20	2	0	34	0	5	4	3	0	0
	24	0	0	0	12	4	1	8	0	4	4	3	0	0
	25	0	0	0	4	0	3	1	0	0	0	13	0	0
	26	0	0	6	24	1	0	3	0	12	8	4	0	0
	27	7	3	68	9	4	0	7	1	27	1	9	0	0
	28	12	2	65	16	4	0	7	1	10	0	12	0	0
	29	35	1	146	64	0	0	8	0	16	8	13	0	1
	30	27	15	106	4	1	0	30	0	15	1	5	0	1
	31	17	14	37	16	3	0	10	1	5	8	2	0	7

850mb面風向風速図、等風速線図



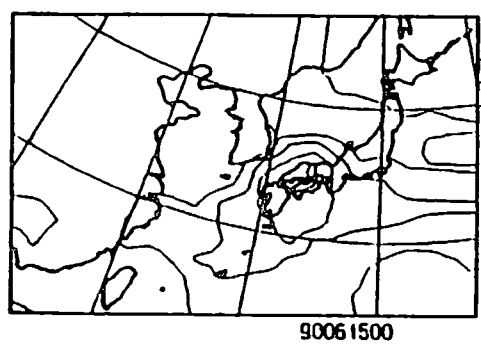
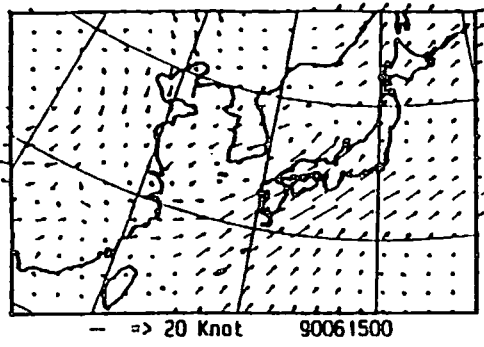
Knot  
10  
15  
20  
25  
30  
35

1990年6月14日9時



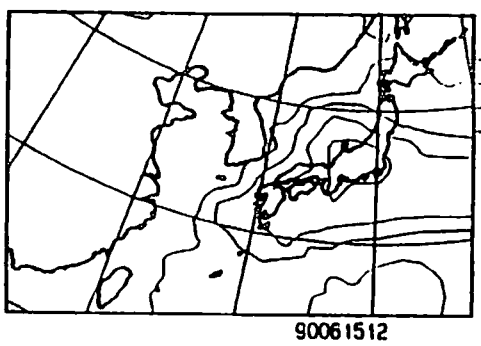
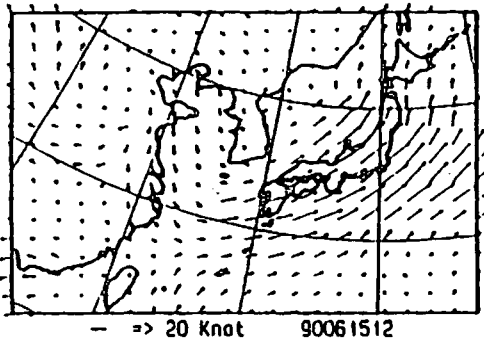
Knot  
10  
15  
20

1990年6月14日21時



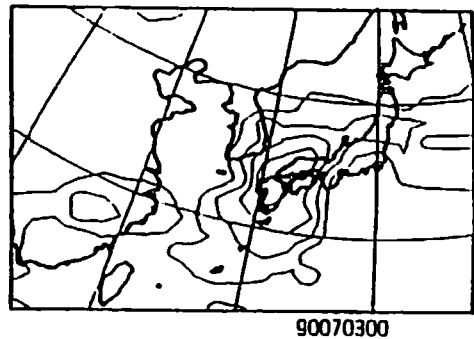
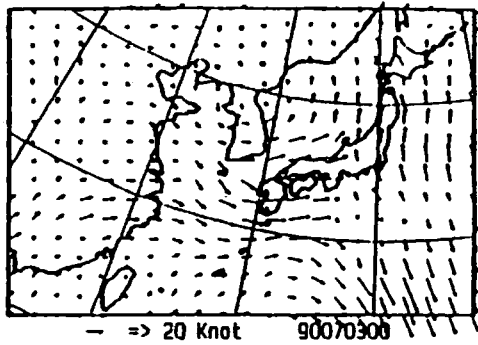
Knot  
10  
20  
30  
40

1990年6月15日9時

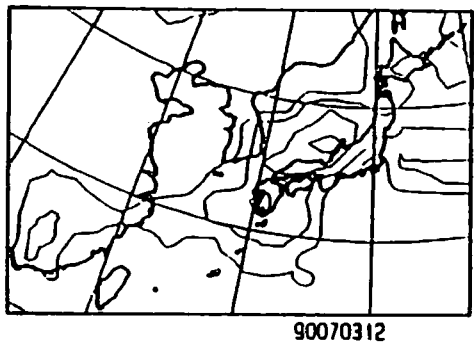
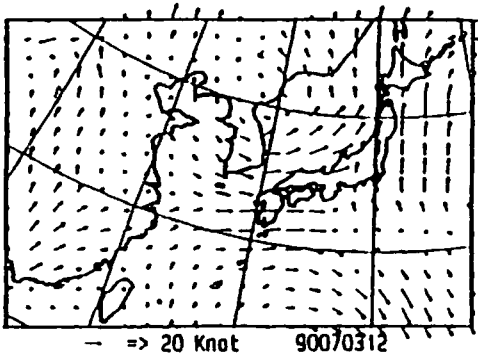


Knot  
10  
20  
30  
40

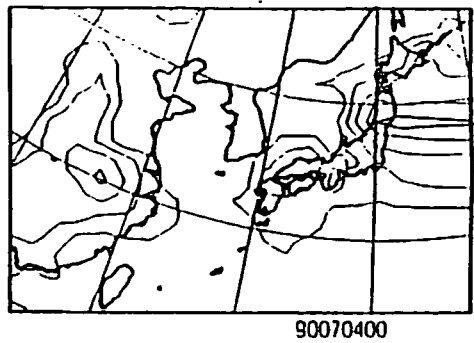
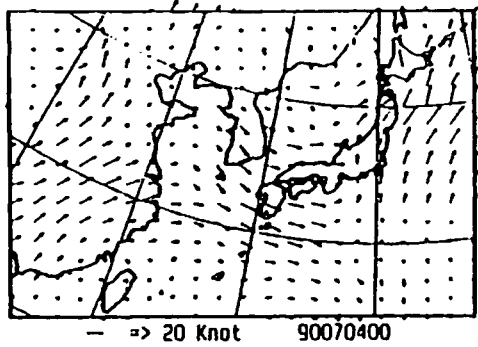
1990年6月15日21時



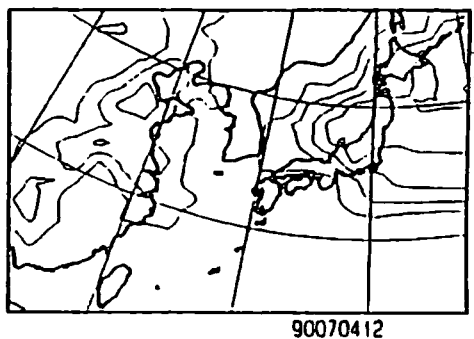
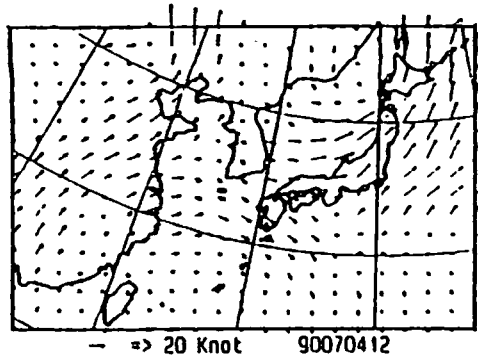
1990年7月3日9時



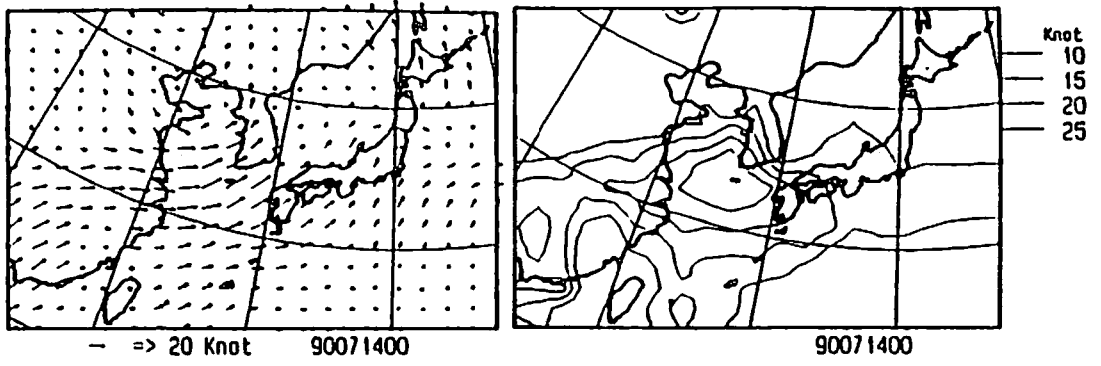
1990年7月3日21時



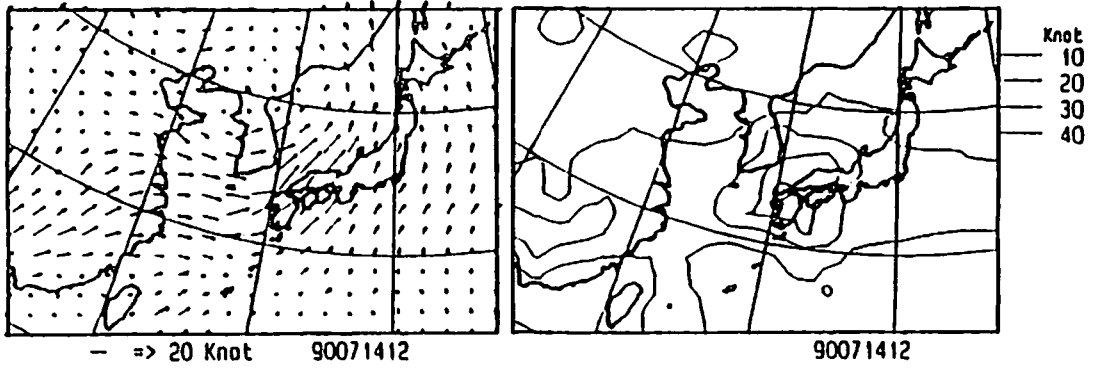
1990年7月4日9時



1990年7月4日21時



1990年7月14日9時



1990年7月14日21時

## (2) 飛来分布調査

### ・目的

ウンカ類の常習発生地の特徴を明らかにするため、飛来量の地域特性を明らかにする。

### ・調査方法

1990年のウンカ類の多飛来が観測された翌日の7月4日に、県下167地点の水田を、1地点20株について、ウンカ類の寄生虫数を見取り法で調査した。

### ・調査結果

- ①セジロウンカの飛来量は県北地域で多く、多飛来地区(株当り30頭以上)は、県北部、西彼杵半島北部及び壱岐西南部で認められた。逆に、有明海沿岸から島原半島にかけては、飛来量が少なかった。地形的には、海岸線の平坦部より中山間部の飛来量が多かった。
- ②トビイロウンカの飛来についてもセジロウンカと同様の傾向であった。
- ③例年に比べ、西彼杵半島西南部の飛来量が少なかった。

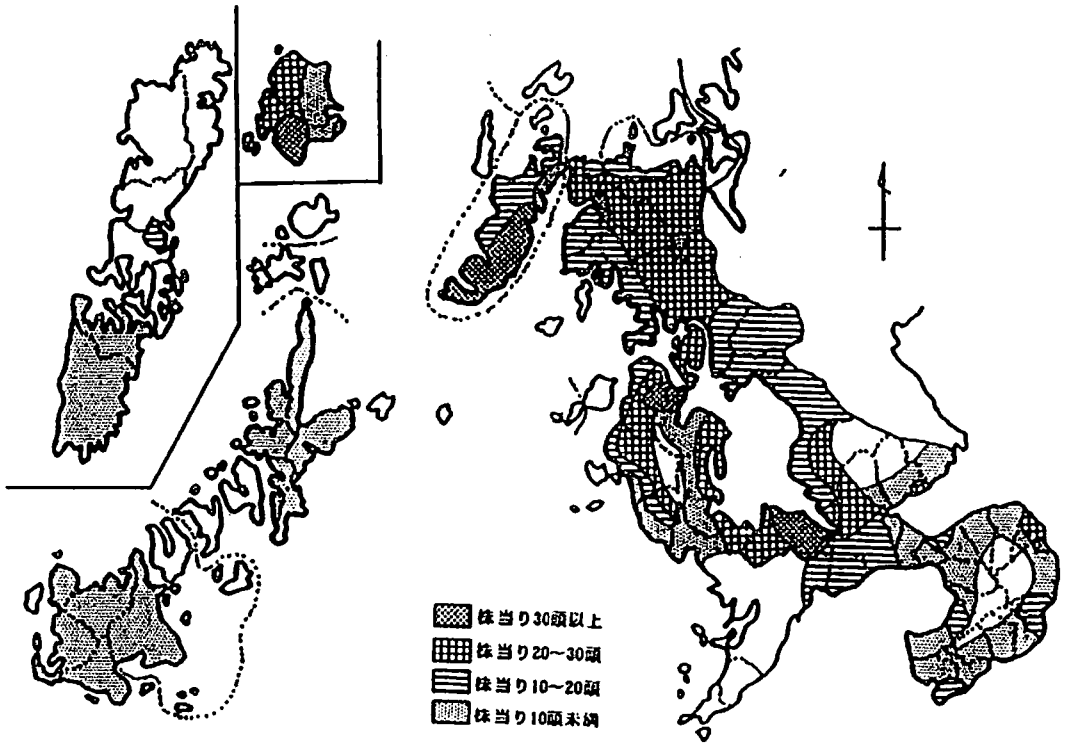


図1. セジロウンカ飛米量区分図

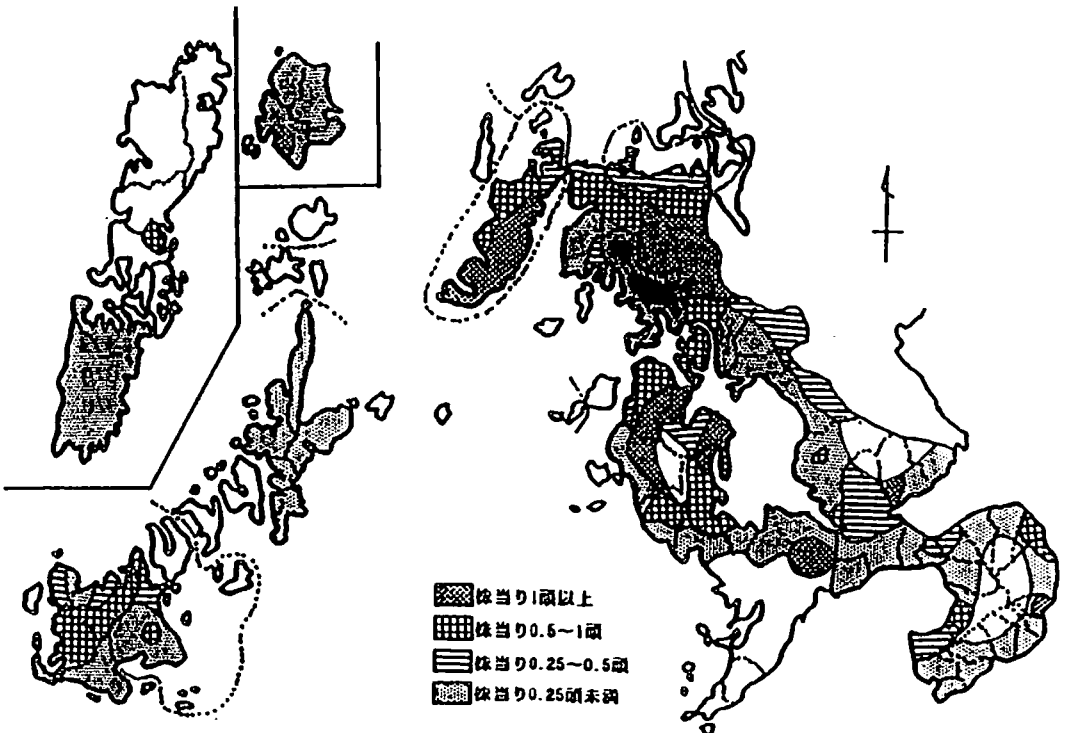


図2. トビロウンカ飛米量区分図

### (3) トビイロウンカ形質発現調査結果

・目的

主たる飛来波の第1世代4～5齢幼虫を捕獲飼育して、短翅発現状況を調査し、防除対策の一助とする。

・調査方法

ほ場にて採集したトビイロウンカの4～5齢幼虫を28℃の恒温器にて飼育。羽化後に調査を行った。

・調査月日

- 第1回：7月16日 (7月13～14日採集分)
- 第2回：7月20日 (7月17日採集分)
- 第3回：8月 2日 (7月30日採集分)
- 第4回：8月17日 (8月12日採集分)

・飛来及び発生経過

トビイロウンカの主な飛来は、6月14～15日、7月2～3日、7月14～15日を中心にみられ、飛来量も多かった。

無防除ほ場では、7月4半旬、8月1半旬、8月4半旬に羽化ピークを迎えた。

・調査結果

6月14～15日飛来、7月2～3日飛来のトビイロウンカの第1世代老齢幼虫を捕獲飼育し、短翅雌発現率を求めた結果、20%台と低かったが、7月14～15日飛来の次世代短翅雌発現率は69.1%と高かった。(第1表)。

第1表 トビイロウンカの翅型発現率調査結果

採集月日	採集場所	雌			雄		
		短翅	長翅	短翅率	短翅	長翅	短翅率
7.13～14	諫早市貝津	3	11	21.4	0	3	0
7.17	諫早市貝津	11	27	28.9	1	12	7.7
7.30	諫早市貝津	16	60	21.1	2	6	25.0
8.12	諫早市貝津	177	79	69.1	46	75	38.0



#### (4) トビイロウンカ薬剤感受性検定結果

##### ・目的

主たる飛来波個体群の薬剤感受性を調査し、防除対策の一助とする。

##### ・検定方法

###### ベルジャーダスター法

供試虫 : 平成2年6月16日、諫早市貝津の県予察ほ場にて採集

平成2年6月29日、佐世保市上柚木にて採集

2世代増殖し供試した。

平成2年7月15日、諫早市貝津の県予察ほ場にて採集

5世代増殖し供試した。

検定方法 : 網筒にイネ稚苗とトビイロウンカ雌成虫30頭を入れ、200mm/hg減圧し、100mg散粉。静置時間60秒の後、室温で24時間後に生死を判定した。各薬剤2反復。

検定薬剤 : BPMC、マラソン、エトフェンプロックス

###### 局所施用法

供試虫 : 平成2年6月16日、諫早市貝津の県予察ほ場にて採集

平成2年7月4日、佐世保市上柚木にて採集

平成2年7月15日、諫早市貝津の県予察ほ場にて採集

検定方法 : 所定濃度の各薬剤のアセトン溶液0.07 $\mu$ lを雌成虫の背面に塗布し、イネ芽だし苗を入れたプラスチック容器に収容後、25 $^{\circ}$ Cの恒温室に置き24時間後の死虫率を調査。

1薬剤5濃度

検定薬剤 : BPMC、マラソン

##### ・検定結果

カーバメイト剤、合成ピレスロイド剤とも殺虫効果は高かったが、有機リン剤ではやや殺虫効果が劣った。またいずれの剤でも昨年みられなかった24時間後の生存虫がみられた。

また局所施用法によりLD50値を求めた結果、カーバメイト剤に対する感受性は高い傾向にあった。

第1表 各種粉剤の効果 (6月16日 諫早市採集虫、8月31日検定)

薬剤名	濃度	散布量	死虫率						
			1h後	2h後	3h後	4h後	5h後	6h後	24h後
BPMC	3.0%	100mg	80.6	92.7	92.7	92.7	92.7	92.7	95.3
マラソン	3.0	"	15.0	72.5	72.5	72.5	72.5	72.5	72.5
エトフェンプロックス	3.0	"	90.7	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5

第2表 各種粉剤の効果（6月29日 佐世保市採集虫、8月31日検定）

薬剤名	濃度	散布量	死虫率						
			1h後	2h後	3h後	4h後	5h後	6h後	24h後
BPMC	3.0%	100mg	75.0	90.0	100	-	-	-	-
マラソン	3.0	〃	5.0	45.0	60.0	70.0	70.0	70.0	70.0
イトフェノックス	3.0	〃	80.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0

第3表 各種粉剤の効果（7月15日 諫早市採集虫、1月4日検定）

薬剤名	濃度	散布量	死虫率						
			1h後	2h後	3h後	4h後	5h後	6h後	24h後
BPMC	3.0%	100mg	100	-	-	-	-	-	-
マラソン	3.0	〃	3.6	10.7	26.6	31.9	35.4	35.4	37.2
イトフェノックス	3.0	〃	80.7	96.8	100	-	-	-	-

第4表 局所施用法による薬剤感受性（♀LD50値、 $\mu\text{g}/\text{g}$ ）

採集日	6月16日	7月4日	7月15日
採集地	諫早市	佐世保市	諫早市
検定日	12月6日	11月26日	12月5日
BPMC	11.2	11.3	11.5
マラソン	-	137.5	123.5